

平成24年(2012年)12月期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

2013.2.18

www.cosmobio.co.jp

JASDAQ
Listed Company 3386

目次

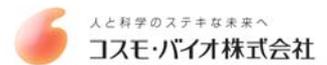
 人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容 p.3
2. 2012年12月期決算の概要 p.9
3. ライフサイエンス研究市場 p.18
4. 2013年12月期の取り組み p.21

1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

会社概要



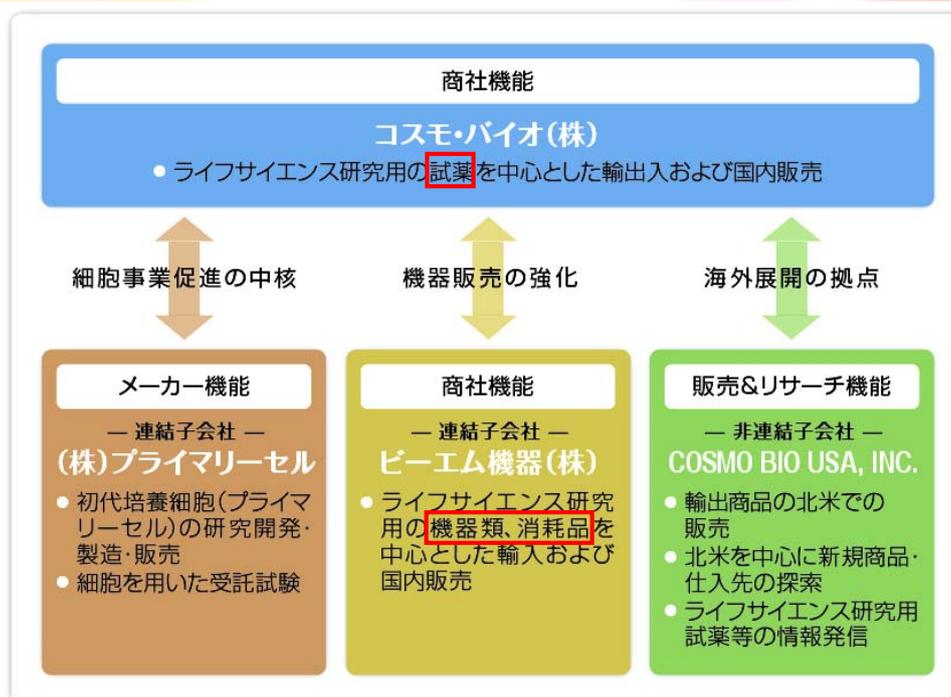
社名: コスモ・バイオ株式会社
設立: 1983年8月25日
本社所在地: 東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者: 代表取締役社長 笠松 敏明
事業内容: ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
臨床検査薬の輸出入および国内販売
資本金: 918百万円
従業員数: 連結:121名 個別:80名(2012年12月31日現在)



ライフサイエンス研究を支援する専門商社



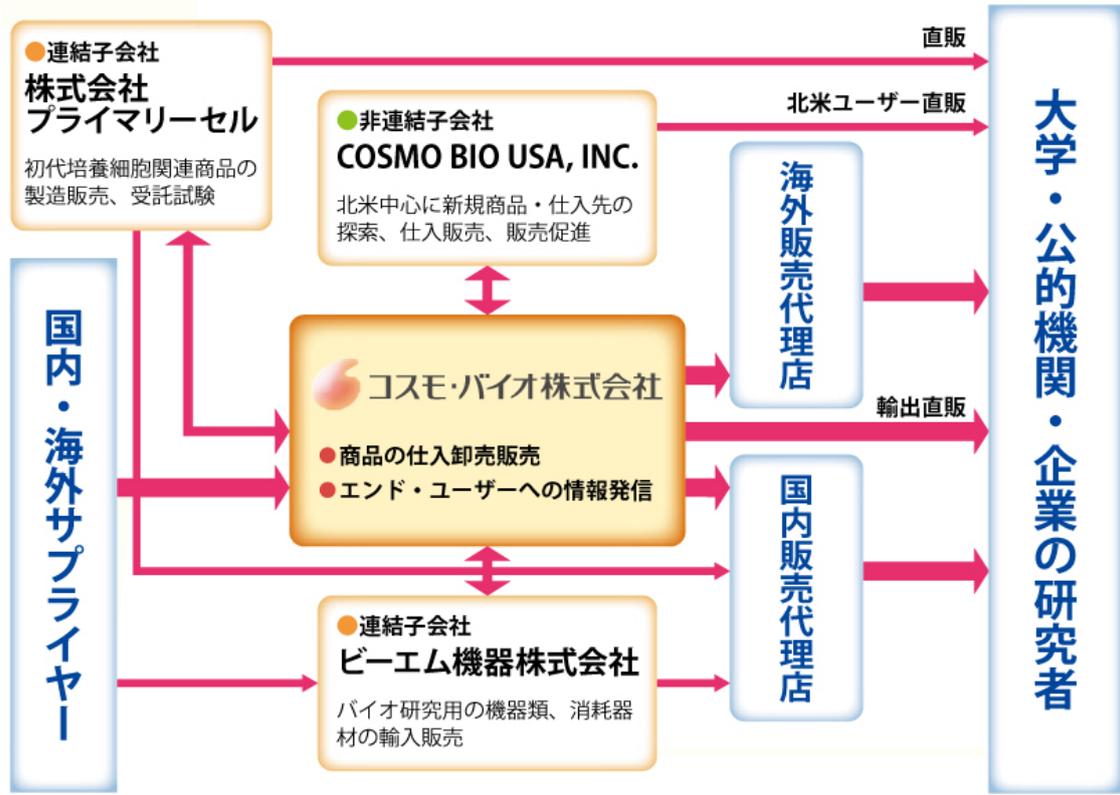
グループ経営体制



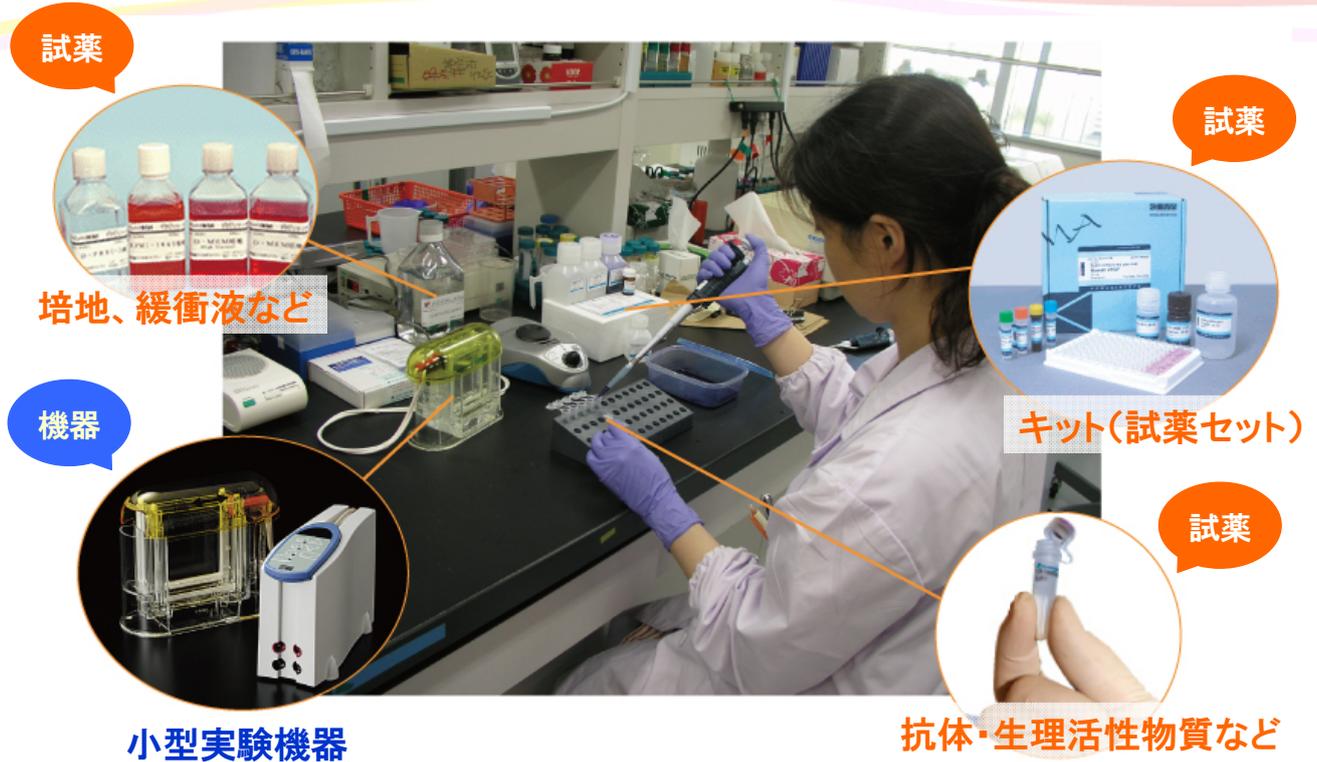
- 研究活動に必要不可欠な『試薬』と『機器』の両面からライフサイエンス研究を支援
- 商社機能にメーカー機能を一部複合させ、安定的な事業拡大を推進

ビジネスモデル

「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」



取扱商品の一例



2. 2012年12月期 決算の概要

www.cosmobio.co.jp

業績ハイライト

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

売上高

【前年比】

100.7%

【予算比】

97.9%

大学・公的研究機関：
引き続き予算執行に慎重さがみられた

企業：
製薬企業等の基礎研究・開発案件の絞り込みで、特に
創薬分野で購買活動が弱い

利益

【前年比】

89.7%

【予算比】

85.6%

為替は平均79円/ドルで推移し、予算に対しては4円の円高
ドル安で、仕入れコスト低減

販管費は今期は大幅増の予算をほぼ計画どおりに執行

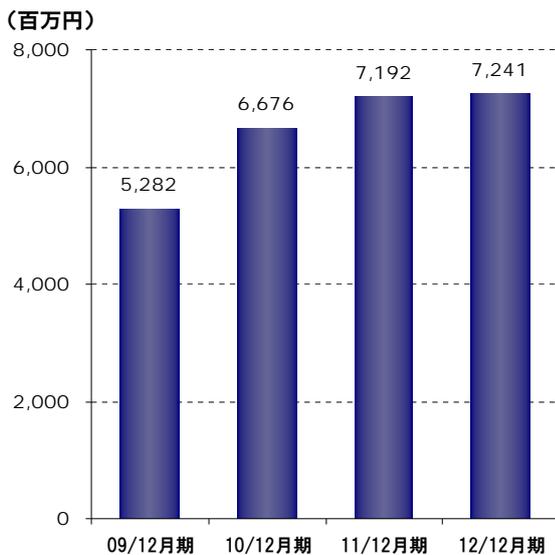
連結損益計算書(前年同期比)

(単位:百万円)

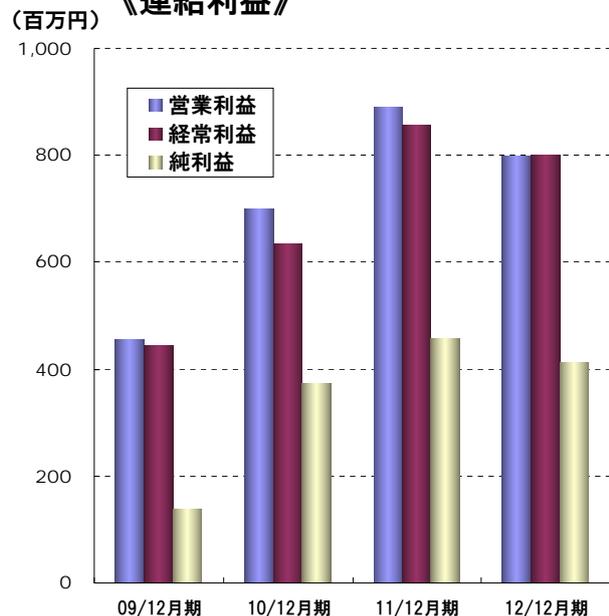
	2011年 12月期	2012年 12月期	増減額	増減率
売上高	7,192	7,241	48	0.7%
売上総利益	3,183	3,184	0	0.0%
営業利益	891	798	△93	△10.5%
経常利益	856	801	△54	△6.4%
純利益	458	411	△47	△10.3%

連結売上高／利益の推移

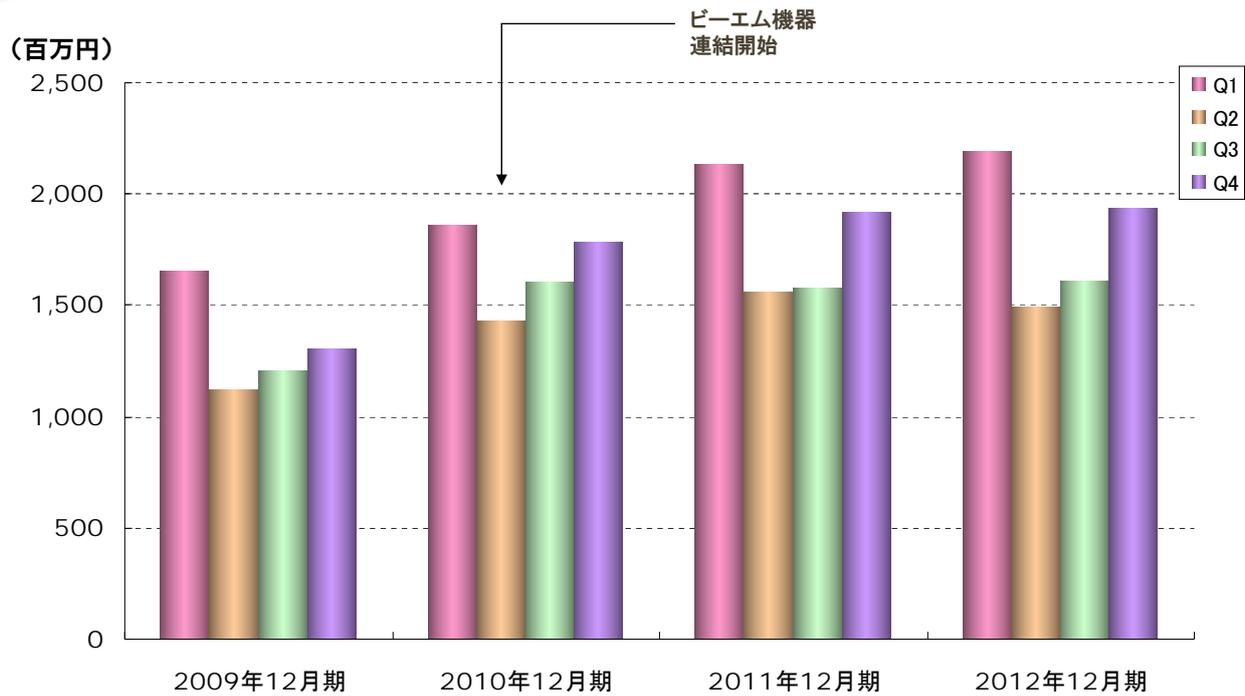
《連結売上高》



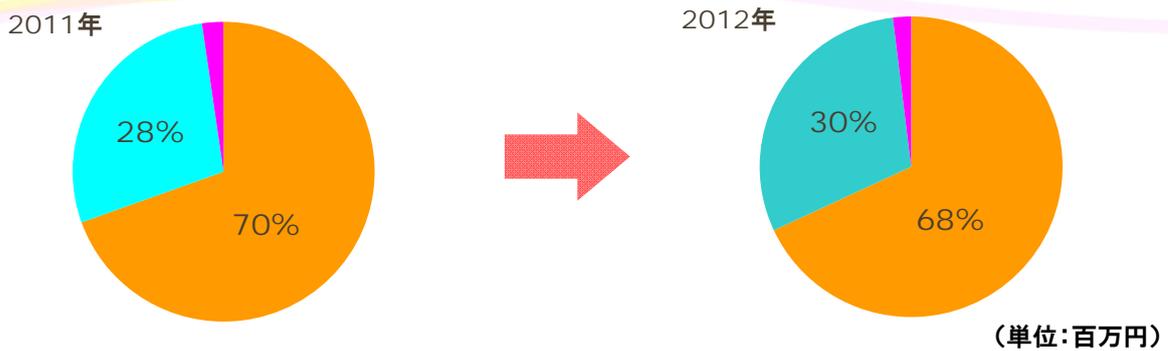
《連結利益》



四半期別連結売上高動向



商品分類別連結売上高



	2011年 12月期		2012年 12月期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
研究用試薬	5,002	69.6%	4,929	68.1%	△73	△1.5%
機器	2,037	28.3%	2,165	29.9%	127	6.3%
臨床検査薬	152	2.1%	146	2.0%	△5	△3.6%
合計	7,192	100.0%	7,241	100.0%	48	0.7%

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2011年12月末	2012年12月末	増減額
総資産	6,734	6,955	220
流動資産	5,264	5,413	149 ^{注1}
固定資産	1,470	1,541	71
負債合計	1,390	1,234	△156 ^{注2}
純資産合計	5,343	5,720	377
自己資本	4,873	5,230	356
自己資本比率	72.4%	75.2%	

注1 たな卸資産の増加
 現金及び預金の増加
 有価証券の減少

注2 未払い法人税の減少

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

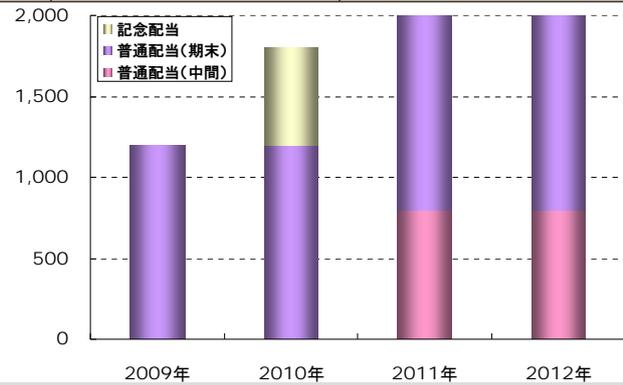
	2011年 12月期	2012年 12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	347	△533 ^{注1}
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351	△167	183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232	△126	106 ^{注2}
現金および現金同等物の増減額	289	61	△227
現金および現金同等物の期末残高	1,471	1,532	61

注1 税金等調整前当期純利益の増加
 法人税の支払いの増加

注2 配当金の支払い

配当について

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2013年 12月期(予想)	8円	12円	20円
2012年 12月期	800円	1,200円(予定)	2,000円(予定)
2011年 12月期	800円	1,200円	2,000円
2010年 12月期	0円	1,800円 (うち普通配当 1,200円) (うち記念配当 600円)	1,800円
2009年 12月期	0円	1,200円	1,200円



3. ライフサイエンス研究市場

ライフサイエンス研究とユーザー層

大学

- 政府から提供される
 - 運営交付金
 - 競争的資金(例:文部科学省の科研費)
- などの資金をもとに研究活動を行う。

公的研究機関

理化学研究所(文科省)
産業総合研究所(経産省)
医薬基盤研究所(厚労省)
...

企業

製薬会社、食品会社、
化粧品会社、
ベンチャー企業、...

- 各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究**にどのくらい「投資」するかの予算が組みられ、その資金をもとに研究活動を行う。

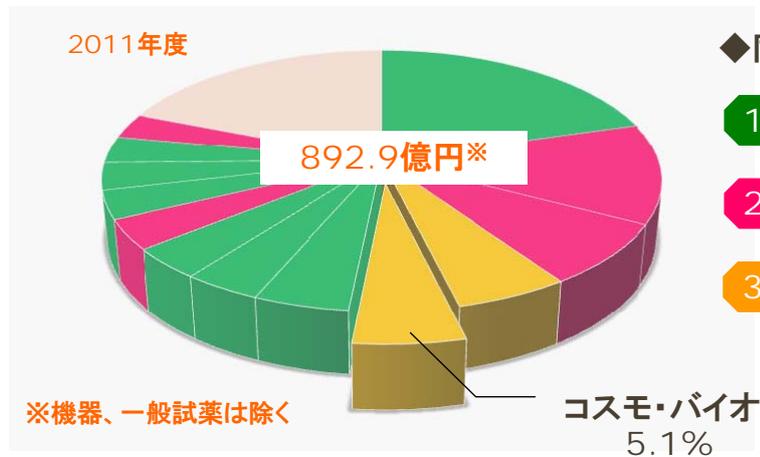


日本学術振興会ホームページより
※2011年度より一部研究の基金化を行っており、次年度以降の研究費分として執行予定の研究費を含んでいる(グラフ黄緑色)。



ライフサイエンス研究用試薬の市場と同業会社

生化学(ライフサイエンス)研究用試薬の市場規模

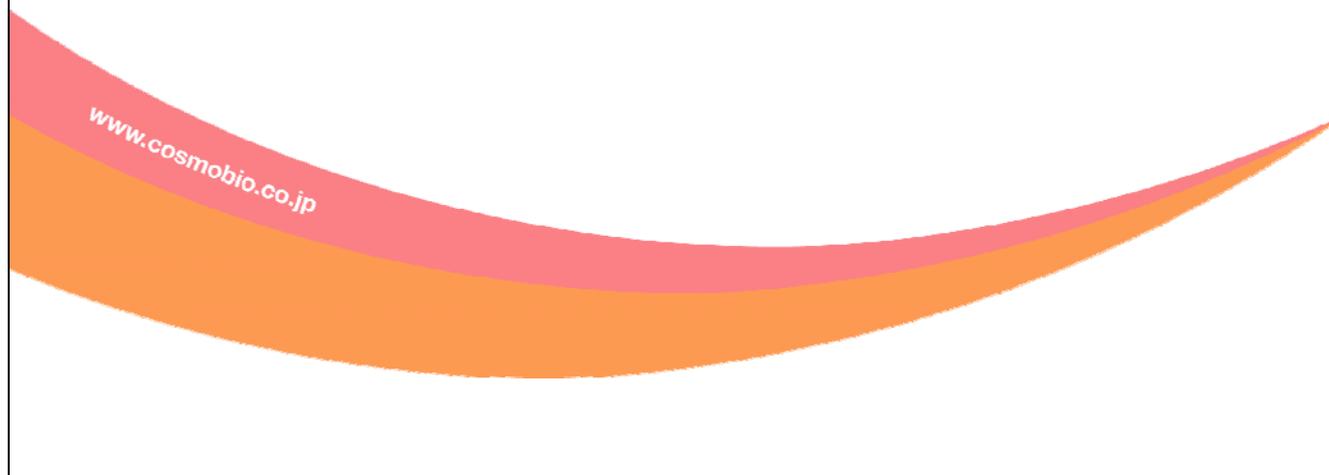


◆同業他社のパターン◆

- 1 海外企業の日本法人
- 2 大手企業の子会社・部門
- 3 商社

出典: 矢野経済研究所『生化学向け研究用試薬に関する市場動向調査 2012年度版』

4. 2013年12月期の取り組み



2013年12月期の連結業績見通し



(単位:百万円)

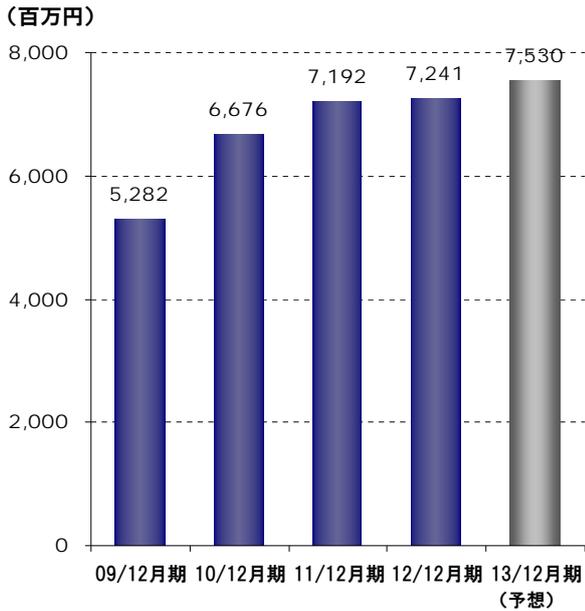
	11/12月期 実績	12/12月期 実績	13/12月期 予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	7,192	7,241	7,530	293	4.0%
営業利益	891	798	549	△248	△31.2%
経常利益	856	801	636	△164	△20.6%
純利益	458	411	364	△47	△11.6%
売上高経常利益率	11.9%	11.1%	8.4%	—	—

平均為替レート	11/12月期	12/12月期	13/12月期 (予想)
円/USドル	79円	79円	90円

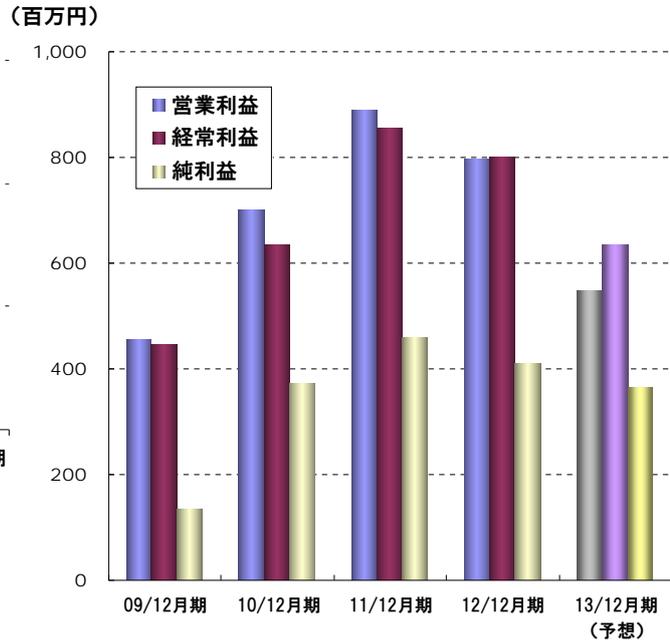
2013年は、積極的な販売活動および為替の円安変動により、
増収・減益を見込んでおります

連結売上高／利益の推移(予想含む)

《連結売上高》



《連結利益》



2011年－2013年の取り組み

活力ある成長企業を目指す

ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

＜2013年の取り組み＞ -重点項目-

1. 自社ブランド品・注目商品拡充のための
新技術・商品導入の促進
2. 商品情報サービスの徹底
3. 海外販売網の拡充加速・代理店との関係強化
4. 有望市場分野への注力
5. 経営の合理化・効率化

1. 新技術・商品導入の促進

商品力 技術力

新技術・商品導入の促進

- 的確なニーズ&シーズの情報収集により常に最新の商品を探査・導入
- 社内体制の整備による探査力増強

自社ブランド品の増強

- プライマリーセル社およびCOSMO BIO USAとの連携
- これまでなかった試薬を商品化
- 研究者との共同開発でアイデアを形に
- 日本の優れた技術を世界へ

約600社の仕入先

300万の品揃え



《最近の製品開発例》

2. 商品情報サービスの徹底

商品力 情報力

- 2011年末
Web上での商品検索システムをリニューアル
- 2012年
商品情報の整備・充実
検索機能の徹底強化
- 2013年
引き続き、商品情報の整備・充実の徹底

商品情報の充実の一環として、
コスモ・バイオ学術論文賞
“Cosmo Bio Award 2012”
を開催しました。
多くの研究者から商品使用情報をご提供いただき、当社ウェブにて情報を公開しています。



3. 海外販売網の拡充加速

商品力

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化
(2012年12月末時点で21社)
→ 今後更に既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)

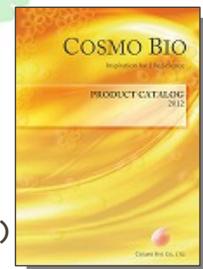
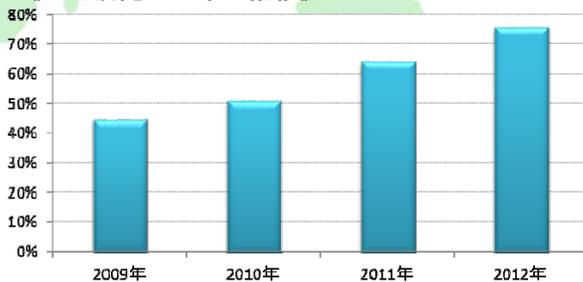
2013年末までに30代理店へ

- 米州の市場開拓を強化
 - Cosmo Bio USAを米国市場開拓の拠点とし、また世界に向けた情報発信拠点に



タンパク質合成キット
PURESYSTEM®

《代理店売上比率の推移》



カタログ
(2012年6月発刊)

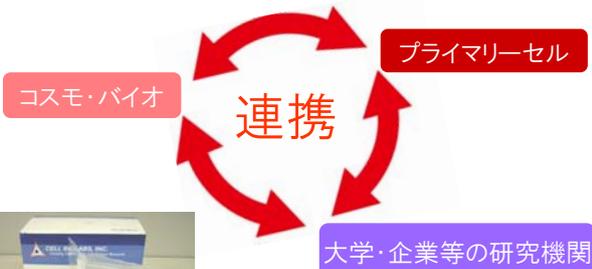
4. 有望市場分野への注力

商品力

細胞関連分野



- グループ会社機能を生かした商品開発・技術サポート
- 仕入先の拡充による商品品揃えの充実
- 商品・技術開発を目指した共同研究開発
- ヒト細胞を用いた受託解析サービス



RNA関連分野

- 品揃えの充実
- 受託試験サービスの積極展開



創薬支援分野

- 対面型提案営業による研究者へのアプローチ
- 仕入先との緊密な連携による顧客サポート



5. 経営の合理化・効率化 ～新物流センター～

2013年1月より、新砂物流センターにて配送業務を開始いたしました



室温、4℃、-20℃、-70℃、液体窒素（-196℃）の保管エリアがあります。

適切な温度管理を必要とされる商品がほとんど。

適切な在庫設定や保管により、研究者に高品質な商品を迅速にお届けします。

ご参考

社会貢献活動

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界の化学・生物実験～DNA鑑定』
和歌山工業高等専門学校

『細胞内構造の観察とがん研究への応用』
愛知県がんセンター研究所

【今年度で開催された講座の一例】

米国科学振興協会(AAAS)が発行する研究者のためのオンラインジャーナル“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています

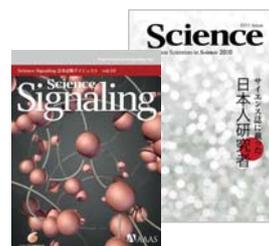
『iGEM生物ロボットコンテスト』

参加日本チームへの支援

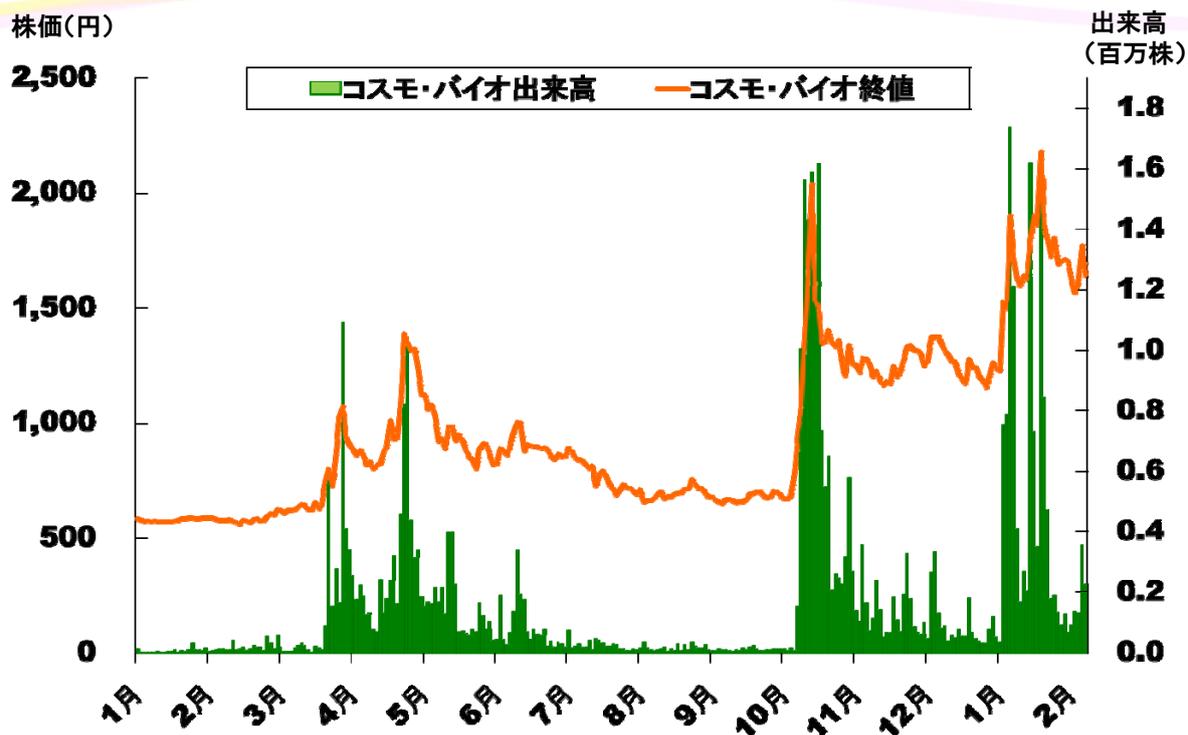
米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています



『Science Signaling』



株価推移(2012/1/4~2013/2/15)



前日(2月15日)の終値:1,645円

ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。

《IRに関するお問い合わせ先》
 コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
 ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>